

町の記憶

入江豊三郎本店
福山市鞆町鞆五三四

大正時代の外観はそのままだに
店内には写真映えスポットも



Vol.90

「福」 山市鞆町で1886年に創業
し、特産である保命酒の製造・

販売を手掛ける入江豊三郎本店。江戸期から引き継いだ昔ながらの製法に今もこだわり、伝統の味を守り続ける。また関連商品も次々と開発し、人気を集めている。

本店の他に醸造作業を行う「蔵」、市営渡船場近くの「渡船場店」の3拠点を展開している。中でも本店は「大正期に完成した建屋の外観がそのまま残り、当時の雰囲気は今に伝えています」と入江里彩社長。

2021年に内部を改装し広々とした店舗になったが、大正期の商家を体感できるよう配慮してある。改装中、店内の一角が明治時代に建てられた建物の一部であったことが分かった。「柱にはリサイクルした材木を使っていたようです」

本店内には写真映えするスポットも。古井戸や1985年ごろまで使われていたという「五右衛門風呂」が残る。入江社長は「私も子供の頃、五右衛門風呂を使っていました」と振り返る。古井戸の上にある神棚は、いつの間にか来店した人がさい銭を置くようになったとか。

2月からは女性向けの「レンタル着物」事業を展開している。誰でも自分で着付けができる特別な構造の着物で、帯もマジックテープで留めるだけ。江戸期の風情が残る鞆の町並みを、着物姿で歩ける。伝統を守りながら、新しい試みにもチャレンジする。